

【様式①】令和5年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 加納小学校

校長名 後藤 喜朗

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	指導と評価の一体化を推進し、「実践力のある子どもの育成」に向けた授業改善を行う。子どもが主体的に参画する教育課程とねらいを明確にした「ぎふMIRAI's」の実践を行う中で、故郷への誇りと愛着を育む活動を充実させたい。	A	学校の探究テーマを「ふるさとに生きる」と設定し、学年の系統性を図った教育課程を編成することができた。多面的・総合的な評価により指導内容の重点化を図り、活動における指導・援助の具体化や、見取りと価値付けにつなげた。教師の評価を適切にフィードバックすることは、子どもの自己評価力向上につながった。	地域の歴史・文化について触れる機会を、授業に取り入れることは非常によい。地域の祭りなど多い地域なので、これからも取り入れてほしい。他者の意見を聞いて自分の意見に取り入れたり、他の方法を試したり、ハンドサインや積極的なつぶやきも多く、主体的な授業づくりが実践されており、成果が子どもの姿として現れている。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	地域の教育力(加納中、岐阜壘、加納幼、地域人材等)を生かした学習活動の推進(人材バンクの活用)を行う。幼小中の滑らかな接続を行うための、子ども同士の交流の機会を大切にするとともに、互いの教育内容、教育活動を知るための、職員研修も積極的に行いたい。	A	小中の連携を図り、学習内容や育みたい資質・能力の系統表をつくることで、小中の接続をより円滑にし、中学校区全体として探究的な学習の充実につなげることができた。幼小連携事業に積極的に取組み、加納幼稚園と職員間、子ども間の交流を行った。また、幼稚園、壘学校の施設利用への協力も行った。	学園都市としての特色を生かして、良好な連携で教育が推進されている。行事等で、幼稚園、壘学校、中学校との交流をすることで、コミュニケーション能力を養い、上級生は下級生に教える指導力、下級生は上級生へあこがれをもつなど、お互いに思いやりの心が育つ。職員も、夏の職員研修や研究授業への参加など、積極的に交流が進んでいてよい。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	職員間のコミュニケーションを大切に、「学習指導」「生徒指導」「経営分掌」「特別支援教育」「情報教育」各分野における研修を行い、教員の指導力向上とともに、業務のスリム化・効率化を行い、「働き方改革」を「本気」で推進する。	A	研究推進委員長、学習指導委員長、教育相談主任、特別支援教育コーディネーター、情報主任など主任のリーダーシップの基に、職員が主体的に学び合う研修を行い、指導力の向上を目指した。ICTの活用、会議の精選、終了予定時刻の設定などにより業務のスリム化・効率化を行い、2月には、職員の平均超過勤務時間が45時間を下回った。	職員の学びへの意識が高く、とても熱心に教育に携わってもらい、子ども達にもよい影響がある。職員の働き方に余裕が生まれると、子ども達にもよい変化がある。業務の合理化、スリム化のために、更に時間を費やされていることを知り、頭が下がる。世の中では、なかなか進まないのが実情だと思う。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	子どもの心に寄り添う教育相談(生命の尊厳)を充実させることにより、多様な人と関わり、思いやる心を育てる。いじめ・不登校等の未然防止と早期発見・早期対応に努めたり、職員や児童の危機管理意識を高め、研修や訓練を実施したりし、安全性を確保する。	A	日常の声掛けやアンケートの活用、教育相談の位置付けなどにより、子どもの心に寄り添う指導を行った。保護者や子どもへの学校評価アンケートにおいて、職員の「親身な対応」「いじめの未然防止、早期発見、早期対応」「頑張りへの認め・励まし」について、回答していただいた保護者の95%以上、子どもについても90%を超える高い評価であった。	様々な家庭や子どもがいる中で、一定の基準を保ちつつ、適切に対応している。いじめの未然防止、対策が迅速にできることは、子どもも保護者も、安心して過ごすことができる。大変ありがたい。防犯、防災についても、啓発レベルの向上を感じる。災害時の、校庭への避難ルートの安全確保、保護者への引き渡しが可能かどうか、想定範囲を広げるとよい。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	児童の安心・安全を最優先にし、安全点検、修繕、修繕要望を行う。また、適正な会計業務の執行と備品管理を行う。	A	適正な会計業務の執行と備品管理を行った。施設監査の対象校として、監査委員会の皆様に来校いただいたが、教室環境や整頓された準備室などについて、よい点として御指摘いただいた。校舎の老朽化が進んでいるが、今後も、子どもの安心・安全を優先にし、修繕や修繕の要望を行っていきたい。	古い校舎だが、日常の整理整頓や清掃に力を入れていてよい。通学路については、物理的な道路などの改良が困難であることは承知している。構造改良まで及ばないレベルでの、車両などにアピールする掲示、着色などについて、関係機関へアピールをしてもらえるとよい。

HPアドレス: <https://gifu-city.schoolcms.net/kanou-e/>